

広報文芸

【広報文芸応募方法】ハガキまたは封書に三句以内と電話番号を記載し、9月4日(金)必着。までに直接選者に応募。

俳句 (井上醇女選)

打ち水にしばしの風をもらひけり
美奈宜の杜 宇都 信泰
登り来て岩に一礼山開
夏休み朝からはしやく子供達
堤 立花多佳子 古毛 松田 信子

川柳 (平井良子選)

虫の音や季節変わり目知らすやう
鶴木 林 公則

今月の題「迷」

人生は何が待つやら迷い道
来春 見山 英美
迷惑と言われ手を出さおせつかい
千手 山崎 弘子
迷いなき笑顔だろうか特攻隊
甘木 山下 藍
迷路ならあなたと共にいつまでも
美奈宜の杜 大橋 政子

短歌 (古賀雅選)

除草剤散布の液は背に重く
青田を歩む足のよろめく
前庭に咲く鹿の子百合反り返る
朱の花びらは風にそよげり
逆転の歓喜と失意朝倉
高校野球夢来年へ
甘木 吉澤 孝夫
巴木松末 小川 静子
巴木久喜宮 高倉 久年

【広報文芸へ応募するときの注意】
広報文芸への応募は、俳句・川柳・短歌のいずれかひとつでお願いします。

満一歳おめでとう

 高着 愛梨ちゃん 9月17日生(女/牛木) 父=太志・母=友里恵	 石井 陽菜ちゃん 9月11日生(女/甘木) 父=章治・母=裕香	 林 澤桜菜ちゃん 9月12日生(女/上秋月) 父=政明・母=千晴	 田中 泰蔵ちゃん 9月18日生(男/八重津) 父=豪樹・母=綾奈	 谷口 陽輝ちゃん 9月2日生(男/日向石) 父=将司・母=楓
 鹿島 遥ちゃん 9月27日生(女/堤) 父=正孝・母=香織	 中村 咲良ちゃん 9月29日生(女/甘木) 父=勇介・母=美華	 権藤 志乃ちゃん 9月17日生(女/堤) 父=徳史・母=恵美子	 小野 結加ちゃん 9月12日生(女/持丸) 父=明洋・母=夕貴	 矢野 結大ちゃん 9月16日生(男/堤) 父=善一・母=奈穂子
 山城 司ちゃん 9月7日生(男/菩提寺) 父=伸二・母=友紀	 上大川 航太ちゃん 9月14日生(男/甘木) 父=伸一・母=浩子	 小田 晃佑ちゃん 9月18日生(男/屋永) 父=恭久・母=友美	 大庭 愛未ちゃん 9月22日生(女/甘木) 父=将行・母=里沙	 石井 心美ちゃん 9月25日生(女/大庭) 父=宏明・母=未来
 檜崎 心悠ちゃん 9月19日生(女/甘木) 父=順一・母=育恵	 倉富 日南乃ちゃん 9月25日生(女/小田) 父=翔一・母=仁子	 陶山 心結音ちゃん 9月20日生(女/三奈木) 父=誠次・母=小百合	 林田 結月ちゃん 9月22日生(女/三奈木) 父=基一・母=昌代	


デジタルカメラ・スマートフォンで撮った写真はプリント不要です。メモリーカード、またはそのまま持参してください。

10月1日号「満一歳おめでとう」コーナーの申し込みは9月4日(金)までに市行政情報課情報発信・ICT推進係(市役所本庁3階)へ。

けんころ! Cooking

県栄養士会・病院栄養士協議会 管理栄養士

サンマの
炊き込みご飯



1人分501kcal

■材料…【4人分】米2.5合、サンマ2尾(3枚におろしたもの)、A【酒・醤油各大きじ2杯】、B【酒・醤油各大きじ1と1/3杯】、しょうが1かけ分(うす切り)、昆布10センチ角(細かく切っておく)、万能ねぎ1/2束分(小口切り)、かぼす1個

■作り方…①サンマを適当な大きさに切り、Aに30分以上つけこむ。②釜に米と分量の水、調味料B、昆布、汁気をきったサンマ、しょうがを加え炊く。③炊き上がった器に盛り、ねぎを散らかぼすを飾る(写真参照)。

■一口メモ…秋といったらサンマですね。サンマをほぐし、ご飯と混ぜるのもおすすめです。きのこと一緒に炊いてもおいしいですよ。

見たり聞いたり 戦後70年

絵手紙に込める 平和への願い

7月15日、朝倉市内で開催されている絵手紙教室「あまゆう会」では、普段とは違うテーマに取り組んでいました。

小都市在住の山川さんは、近隣の市町村で絵手紙教室を開催しています。

今回の教室では「平和と戦争」をテーマにした絵手紙作りに取り組みました。

「戦争体験者から実際に聞いた話」「戦争体験者の手記」「テレビを見て知った戦争のこと」教室の皆さんには、なんでもいいからこれらのことを見たり聞いたりして、自分が感じたことを絵手紙にしてほしいと思いました。

「70年前に、お国のためと敵船に特攻していった兵士たち、花嫁になれなかった人、空襲で家族を失った人、そんな人たちの思いを、戦争を体験していない私たちがどうにかして次の世代に伝えたい」といけなかつたと思います。」と話す山川さん。

教室参加者の井上さん(上秋月)は「戦争については、今までは『こわい』『残酷』という気持ちで勝って避けてきたことなので、何を描けばいいのか、分かりませんでした。でも今取り組んで、目をそむけてはいけないということ、自分が子や孫に伝えていく立

7月末には、絵手紙教室の皆さんで頼田の森へ出向き、戦争体験者の金堀重輝さんのお話を聞きました。それをもとに大きな巻紙に11人で一本延命地蔵などの絵を描く、絵手紙ライブを行いました。

これらの作品は11月に、久留米の石橋美術館で、12月にフレアス甘木で展示される予定です。




作品の一部。味のある絵と、思いのこもった文章は色々なことを考えさせられます。

川柳次の題は「和」 【広報文芸応募先】俳句は井上醇女さん(〒838-0064 朝倉市頼田14-2) 川柳は平井良子さん(〒838-0068 朝倉市甘木1074-2)、短歌は古賀雅さん(〒839-1301 うきは市吉井町桜井359)へ。